



花のじゅうたん
昨年に引き続き、今年も「花のじゅうたんプロジェクト事業」として、地域の方々のご協力をいただき、空港内の植樹帯等に花を植えて景観づくりを行いました。
北海道観光のイメージアップ、空港を利用される方々をはじめ、地域住民の方々にも、四季折々の花を觀賞いただければと思います。

花のじゅうたん



▶3年生・製作「まりもっこり」

7月5・6日の両日、第32回奥校祭が開催されました。

5日には、奥尻小学校グラウンドで、露店、よさこいソーランの踊りを披露。

行灯行列では、各学年がみんなで力を合わせて作った行灯を担いで、奥尻市街を練り歩きました。

悪天候の中、雨をもろともせず、「オッシャー!」「ワッショイ!」、各商店の前では「商売繁盛!」と気合いの入った掛け声が、鳴りやむこと無く、最後まで続きました。

▶1年生・製作「キノピオ」



『第32回奥校祭』



▲「よさこいソーラン」(奥尻小学校グラウンド)

街頭に集まった観衆からは、「頑張れ!頑張れ!」と、役場駐車場前でのよさこいソーランでは、「アンコール!」「アンコール」の声と大きな拍手が送られました。

▶2年生・製作「スティッチ」



【北方領土返還要求運動強調月間】

8月1日から8月31日まで「北方領土返還要求運動強調月間」です。

我が国、固有の領土である歯舞諸島、色丹島、国後島及び択捉島からなる北方四島の早期返還の実現に向けて、様々な運動を展開していますので、皆様のご理解、ご協力をお願いします。



珍魚捕獲!



▲「オオカミウオ」を手にする鈴木さん

6月20日午後3時頃、奥尻港湾内（海洋研修センター裏付近）で、鈴木等さん（字宮津）が投げ釣りをしていたところ、体長60センチほどの見たことの無い珍しい魚を釣り上げました。

周囲の人たちからも驚きの声があがり、鈴木さんから役場産業建設課に「珍しい魚だ」と思うので、調べてほしい」と連絡がありました。

凶鑑などで調べたところ、特徴が酷似していることからスズキ目の『オオカミウオ』であることがわかりました。



▲分類：魚類スズキ目オオカミウオ科。
日本では新潟・茨城県以北に生息している。

このオオカミウオは、オホーツク海やベーリング海など主に北方海域で、日本では新潟・茨城県以北に、生息しており、日本海側では珍しいとされています。

体長は1mほどになり、鋭い歯で、貝類やカニなどの硬いものを噛み砕いて食べる特徴があります。一部では食用とされていますが、日本ではほとんど食べられていません。

釣り上げた鈴木さんは、「牙があった怖かった。大概の魚は素手で触れるけど、気持ち悪くて触れなかった。」と話し、あまりの気持ち悪さに、結局捨ててしまったそうです。

奥尻町防災訓練

9月1日(月)午前10時から奥尻町防災訓練を実施します。

訓練内容については、住民高台避難訓練、通信訓練、救急救命訓練、消防訓練、炊き出し訓練を青苗地区、人工地盤で行います。

今回は、AED（自動体外式除細動器）による救急救命訓練の実技指導、講習を実施します。

住民皆さまが参加されますようお願いいたします。詳しいことについては、後日、回覧等でお知らせいたします。

おわび

広報「おくしり」7月号（No483）の中で、次のとおり誤りがありましたので、訂正してお詫びいたします。

◎12ページ「わが家のアイドル」の文面中

Ⓜ 長男 巧くん Ⓧ 長男 巧くん

町の人口・世帯

住民基本台帳 6月末現在

男	1,746人	(+4)
女	1,699人	(-1)
計	3,445人	(+3)
	1,668世帯	(-0)

()は前月末比較増減

おなまえ	年齢	住所
古川ひとみ	満48歳	字奥尻
品田 耕作	満80歳	字奥尻
佐々木岩雄	満70歳	字奥尻

（平成20年6月11日から7月10日まで・敬称略）



「冥福を
お祈りします」

おなまえ	保護者	住所
明上 ゆず	光	字青苗
雁原 咲綾	幸正	字球浦



お誕生

よろこび
かなしみ